

小学5年生が 稲刈り体験

9月19日(水)・10月9日(火)・10月15日(日)

今年も町内3小学校の5年生が稲刈り体験を行いました。初夏に植えた稲が大きく育ち、子どもたちは鎌を手に田んぼに入りました。初めて鎌を持つ子もいましたが、農家の人たちに教えてもらいながら丁寧に収穫しました。予想以上の稲の重さに驚きの声を上げながら、クラスメートと収穫の喜びを分かち合いました。



▲芳賀南小学校(9月19日)



▲芳賀東小学校(10月9日)



▲芳賀北小学校(10月15日)

南高分館とんがり教室 「ぼうじぼ作り」

9月22日(土)



南高根沢分館のとんがり教室で、地域の伝統を子どもたちに伝えるため、荷見泰一さん(芳志戸)を講師に招き「ぼうじぼ」を作りました。完成品を持って近所の家に行き、歌に合わせてぼうじぼで地面をたたき、今年の豊作をお祝いしました。子どもたちは初めての経験を楽しんでいました。

南高根沢分館のとんがり教室で、地域の伝統を子どもたちに伝えるため、荷見泰一さん(芳志戸)を講師に招き「ぼうじぼ」を作りました。完成品を持って近所の家に行き、歌に合わせてぼうじぼで地面をたたき、今年の豊作をお祝いしました。子どもたちは初めての経験を楽しんでいました。

水橋分館生涯元気アップ講座 「クラフトバンド教室」

9月22日(土)



水橋分館主催の生涯元気アップ講座で「クラフトバンド教室」が開催され、16人が参加しました。カラフルな2色の紙ひもを使用し、切ったり編んだりしながら約2時間かけてペンギン型の籠を作りました。参加者からは「不器用でも作れた」「次はハンドバックを作りたい」との声が聞かれました。

水橋分館主催の生涯元気アップ講座で「クラフトバンド教室」が開催され、16人が参加しました。カラフルな2色の紙ひもを使用し、切ったり編んだりしながら約2時間かけてペンギン型の籠を作りました。参加者からは「不器用でも作れた」「次はハンドバックを作りたい」との声が聞かれました。

真岡北陵高校生が中庭整備

9月28日(金)



真岡北陵高校農業機械科の生徒が起業家精神育成事業の一環として芳賀中学校の中庭整備を行いました。以前からボランティアで中庭の整備をしてくださっている「とち木」の会高橋璋暉事務局長の指導の下、敷石の移動や土壌整備を行いました。今後は、学校と相談しながら竹を活用した庭園を制作していくそうです。

真岡北陵高校農業機械科の生徒が起業家精神育成事業の一環として芳賀中学校の中庭整備を行いました。以前からボランティアで中庭の整備をしてくださっている「とち木」の会高橋璋暉事務局長の指導の下、敷石の移動や土壌整備を行いました。今後は、学校と相談しながら竹を活用した庭園を制作していくそうです。

秋の交通安全 県民総ぐるみ運動

9月21日(金)～30日(日)



▲南高根沢地区の様子

秋の交通安全県民総ぐるみ運動が実施され、町内3カ所の主要交差点で交通事故防止を呼び掛ける街頭運動が行われました。交通安全協会各支部の皆さんが中心となり反射材などを配布しました。参加者の1人は「これ以上交通死亡事故は発生してほしくない。ドライバーの意識で事故はなくなる」と話していました。

秋の交通安全県民総ぐるみ運動が実施され、町内3カ所の主要交差点で交通事故防止を呼び掛ける街頭運動が行われました。交通安全協会各支部の皆さんが中心となり反射材などを配布しました。参加者の1人は「これ以上交通死亡事故は発生してほしくない。ドライバーの意識で事故はなくなる」と話していました。

トラフィック・セーフティ・フェスティバルに みずはし保育園児が登場

9月22日(土)



真岡市生涯学習館のみやとちおとめホールでトラフィック・セーフティ・フェスティバルが開催され、みずはし保育園の子どもたちが参加しました。これは、秋の交通安全県民総ぐるみ運動の一環として行われたもので、子どもたちは大勢の観客の前で、上手にダンスを披露しました。

町最高齢者の 直井キヨさんが104歳に

9月19日(水)



町の最高齢者である直井キヨさん(西高橋)が104歳を迎え、見目町長がお祝いに訪問しました。見目町長から賞状と花束を受け取ると、ほほえみながら「ありがとうございます」と丁寧にお礼を言っていました。直井さんは昔から達筆で今でも自分の名前や住所をきれいな字で書くことができます。

町の最高齢者である直井キヨさん(西高橋)が104歳を迎え、見目町長がお祝いに訪問しました。見目町長から賞状と花束を受け取ると、ほほえみながら「ありがとうございます」と丁寧にお礼を言っていました。直井さんは昔から達筆で今でも自分の名前や住所をきれいな字で書くことができます。

認定ひばりこども園 お月見会

9月21日(金)



認定ひばりこども園でお月見会が行われました。先生から秋にちなんだ食べ物を聞かれると、子どもたちは「栗!」「柿!」と元気な声で答えていました。また、先生たちが「くいしんぼうなお月さま」という紙人形劇を行うと、子どもたちは楽しそうに見入っていました。

認定ひばりこども園でお月見会が行われました。先生から秋にちなんだ食べ物を聞かれると、子どもたちは「栗!」「柿!」と元気な声で答えていました。また、先生たちが「くいしんぼうなお月さま」という紙人形劇を行うと、子どもたちは楽しそうに見入っていました。

RUN伴栃木2018が芳賀町で初開催!

9月22日(土)

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、支援者らがたすきリレーをして認知症への理解を啓発するイベント「RUN伴栃木2018」が、農業者トレーニングセンター周辺で開催されました。芳賀町では初開催となりましたが、100人を超える人が認知症支援のシンボルカラー、オレンジ色のTシャツやタオルを身に付け快走しました。芳賀町エリア長の水沼方昭さん(祖母井南)は「想像を超える多くの人たちから賛同をいただいて大変うれしい。認知症に対する理解を深める良いきっかけとなった」と話していました。

